

令和7年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会
第2回会議 会議録

日 時：令和7年11月12日（水） 午後1時30分～午後3時

場 所：笛吹市役所本館 3階 302 会議室

出席者：◇社会教育委員（敬称略）

立川誠、田中親吾、廣瀬志保、内田勝也、加々美恭子、中楯文仁
石倉絹子、中村久美子

◇教育委員会

手塚教育部長、角田文化財課長、石和図書館矢崎リーダー

◇事務局

早河生涯学習課長、生涯学習担当 河西リーダー、日下

欠席委員（敬称略）：堀内智恵子、霜村文晴、渡邊真史、坂野修一、金子津多恵
吉岡弘子、原百枝

【進行：生涯学習課長】

次第1 開会のことば

次第2 議長兼会長あいさつ

<議長兼会長> 皆様、こんにちは。大変お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。第1回会議から約5か月経過しました。その間、委員の方には、それぞれの立場で会議や研修に参加していることと思います。私も先日、県の社会教育委員連絡協議会理事会に参加し、各市町村の社会教育委員の方と社会教育の課題と活動取組みについて情報共有してきました。社会教育は非常に多岐に渡り、幅広い運営が求められることや少子高齢化の影響で地元の行事の担い手不足など、多くの課題を抱えていると感想を持ちました。本日の会議においては、報告が中心になると思いますので、日々の活動を通して感じていることなど積極的に感想や意見などを述べ、市の社会教育の推進に寄与できるようにお願いします。また、11月28日に山梨県社会教育研究大会が山梨市民会館で行われますので、奮って参加をしてもらいたいです。本日もよろしくをお願いします。

次第 3 会議録署名委員の指名について

笛吹市社会教育委員会議運営規則第 4 条第 2 項に基づき、石倉議長から中楯文仁氏が会議録署名委員に指名された。

次第 4 議事

笛吹市社会教育委員会議運営規則第 4 条第 2 項及び笛吹市公民館運営審議会規則第 4 条の規定により石倉議長が議事進行を行う。

社会教育委員の会議

(1) 市社会教育事業報告について

生涯学習課、文化財課、図書館から説明後、質疑応答を行い、報告内容について了解いただいた。

【質問意見等】

- <委 員> 俳句会について、先日ニュースで市川三郷町の大門碑林全国書道展が今年限りで終了する報道がありました。個人的にすごくもったいないことだと思いました。笛吹市の俳句会は、応募者数減少の懸念点などあると思うが継続していくことが大切だと思います。子ども達に、俳人の飯田蛇笏・龍太氏が旧境川村出身であることや市が「俳句の里」であることを知る大切な機会だと思います。今後も俳句会は継続して活動に取り組んでもらいたいと思います。
- <委 員> 俳句会について 2 点あります。1 点目は、昨年度に比べて今年度の応募数は、増えているか減っているかを確認したい。2 点目は、学校の働き方改革において、夏休みに各種団体からポスターや読書感想文などの作成依頼がある中、教員の負担軽減をするため、県教育が学校でとりまとめを行わない応募方法の見直しを図ることを各種団体に周知していると聞きました。俳句会の応募方法は、学校を通して取りまとめしているのがほとんどだと思いますが、インターネットが普及しているため、個人応募でインターネットを通して作品を提出してもらう方法に変えていく必要があると感じています。
- <事務局> 1 点目の応募数は、昨年度は 36,211 句であるに対して、今年度は 33,444 数である。約 3,000 句減少しています。主に全国的に児童生徒数の減少や統廃合による学校数の減少の影響で年々減少傾向であることが要因であります。2 点目については、

事務局もそのことについては、承知しているので今後は実行委員会をとおして応募方法などの見直しを図っていきたくと思います。

<教育部長>

俳句会について意見ありがとうございます。補足させていただきますが、学校での取りまとめが教職員の負担になることは教育委員会も承知しています。募集を依頼する前に、文部科学省から通知がありまして、教育長も含め相談しながら、学校経営者会議で、市内の校長先生に応募協力を依頼した経過はあります。昨年と比べて約3000句減少していますが、昨年は約36,000句で前年よりも増えていますので、そんな経過があります。例えば個別に提出になると、おそらく応募数が大幅な減少につながる懸念があり、学校の先生達の負担もありながら、協力いただいている実情なので、ご承知おきいただければと思います。

<委員>

学校での取りまとめに関わって、市内の学校で取りまとめを行うことが困難になった時に、教員の負担軽減には繋がるかわかりませんが、子ども達がタブレット端末から各自で申込む方法を先生が教えてあげることも手段であると思います。教員の負担増加に繋がるのかもしれませんが、応募する方法を学ぶ意味で、対応できる力は大切だと思います。学校経営者会議で校長先生達と協議しながら、そういうことも考えながら進めてもらいたいと思っています。

<委員>

市民講座について、去年は笛吹高校でパソコン講座を企画してもらい実施しまして、生徒が受講者に年賀状の作成方法を教えて地域の方と交流したことで、生徒にとって非常に良い経験になりました。今回は、生涯学習課から依頼がなかったので、心配しながら広報を拝見しましたが理由を聞かせていただきたいです。また、パソコン以外に他の講座を本校でさせていただけると、市民の方と一緒に活動ができたりするので、生徒にとっては社会経験になりますので、よろしく願います。

- <事務局> 有り難い話でありありがとうございます。講座企画の時期がかなり早いので、ちょうど来年度の前期講座スケジュールが固まってるような状況になってます。今後、一緒にやれるような事業が企画できればと思いますので、相談をさせていただければと思います。
- <委員> ありがとうございます。可能であれば毎年同じような形式で講座の企画を入れていただけると学校の方でも非常に計画が立てやすいのでよろしくお願いします。
- <委員> 笛吹高校の活動に関して、私は昨年に石和南小学校の学校評議員をやっていました。石和南小学校の生徒が演奏する「御陣屋太鼓」の指導のために笛吹高校のすいれき太鼓部の生徒に来ていただきました。子ども達がすごく意欲的になり、学校行事の文化祭になると、気持ちも前向きになって上手に演奏をしていました。子ども達と近い年代の人が一緒になってやってくれるとすごい力になるんだなと思いました。このように市民講座に高校生が参加して携わることがありがたいことだと思います。
- <議長> 市民講座の定員数に関して、例えば歌声教室でも参加者が2人でも開催してるところもあれば、定員が少なくて開催されない講座があるなかで、少人数でも講座の開催は可能なんでしょうか。
- <事務局> 基本的に申込定員数をもとに開催の可否を決定していますが、参加者が2人の講座については文化協会主催の講座になってまして、少人数でも開催できるか確認して開催しています。
- <議長> 承知しました。

(2)山梨県社会教育委員連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

公民館運営審議会

(1) 山梨県公民館連絡協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解いただいた。

5 その他について

【質問意見等】

<委 員> 最初に笛吹高校の廣瀬校長には、御礼を申し上げたいことがありまして、選挙の投票済証イラストについて、生徒が上手に絵を描いて素晴らしいと思いましたので感謝しています。投票済証が欲しくて選挙の投票に行く気持ちがあります。例えば、その原画をスコレーセンターに飾っていただけるとは可能でしょうか？

<委 員> 何度か投票済証のイラストを書かせていただいているので、原画は校長室に飾っています。

<委 員> 素晴らしい作品なので、実物を見たいと思っていますので、是非よろしくお願ひします。
話が2点あります。1点目は、ふえふき文化スポーツ振興財団または生涯学習課に関するお願ひになりますが、南アルプス市では歌声喫茶というイベントがあります。歌声喫茶では、指導者と一緒に歌うイベントで、指導者の方は童謡歌手の井上香織さんという方になります。過去に富士見小学校の行事で井上さんに来てもらい歌声を聴きましたが、当時より歌がうまい印象でした。一緒に歌うことによって、童謡や唱歌とか昭和時代の歌も歌えるイベントです。財団の方には、そういう機会があれば、企画してもらえるとありがたいです。自衛隊コンサートなど素晴らしいイベントを企画していただいているので、童謡歌手の方と歌う機会を設けていただけるとありがたいと思います。生涯学習課にも同様に、スコレー大学の講座や市民講座の方でも楽しくみんなで歌えるような講座を企画してもらえればありがたいと思います。是非、念頭に入れていただいて、必ず実行してもらえるとありがたいと思います。

2点目は、公民館活動について県公民館活動研究推進大会に出

席した時に、市町村の事例発表を聞くと笛吹市の場合は、他の市町村と比較すると公民館活動の考え方が少し違いがあると存じますが、市の公民館活動についての考え方を伺いたいと思います。

<議長> 公民館館長は、生涯学習課課長だと思うので詳細を教えてください。また、ご意見を伺いたいです。

<生涯学習課長> 本市の公民館は、いちのみや桃の里ふれあい文化館や八代総合会館などの施設を私が館長として務めています。施設を中心とした生涯学習課の事業に生涯学習コーディネーターがいますので、市民講座を通して市民の方たちと交流しながら活動を行っています。事業的には、この市民講座を公民館活動として考えていますので、市民と協働して生涯学習活動を行っている現状になります。

<委員> 私は生涯学習課のスコレー大学に参加したことがないため、わかりませんが、スコレー大学は参加者人数が少なく、年間を通して参加者同士の交流があるイメージである。一方、市民講座は、たくさんある講座によっては抽選に外れて参加ができないことや一回きりの講座で受講しても、ただ参加しているだけの状態になっている気がします。参加者同士で交流する機会があまり見られないと思います。

<事務局> スコレー大学と市民講座には違いがありますが、スコレー大学は専門的な講座で、年間2講座で受講する回数は、年10回から12回の講座として企画しています。今年度の2講座とも各約40人に参加していただいています。市民講座については、講座によっては一方的に話を聞いて終わってしまうイメージを持たれるかもしれませんが、創作する活動の講座は、1回だけの参加ではなく、参加回数が5回程度参加する講座もあり、その中で参加者同士が教え合ったり、仲良くなって自主グループを立ち上げて、受講した内容を一緒に継続して活動していく方々も数多くいます。地区の公民館で講座をするアットホームな雰囲気は足りないことは感じますが、他市町村と比較しても、本市のように市民講座を数多く幅広く提供

しているところはないと思っています。人員を集約して市民講座を幅広く実施するところに力を入れていますので、人とのふれあいや関係作りといったところも、生涯学習コーディネーターにその旨を伝えまして配慮していきたいと思います。

<議長> スコレー大学や市民講座にはそれぞれ良さがあり、バラエティー豊富で、人との交流する機会もあると思うのでとても良い印象だと感じます。

<委員> 私が参加していた石和町時代のスコレー大学は、講座を継続してやりたい雰囲気があって和気あいあいとやっていました。スコレーセンターや若彦路ふれあいセンターを活用して活動を行っていました。市の公民館活動は他市町村とは違った活動をしているということで認識してよろしいでしょうか。

<議長> 過去の印象が強くて理想とするイメージでないことは理解できますが、市の活動は、工夫を凝らしているのでそういうやり方もありだと思います。

<生涯学習課長> ご意見ありがとうございます。そういったことも考えながら、コーディネーター達と話し合いをしていきたいと思っています。私も市民講座の様子を拝見して、自主グループ作って和気あいあいと仲間同士で活動をしている印象があります。そういう中で、例えば地区の公民館を対象とした事業では、人員的に厳しい部分があるところが正直な感想になりますので、意見があったことも参考にしながら検討していきたいと思いません。

<委員> 地域の伝統文化の継承について、担い手不足といった課題をどうやったら解決するか意見が出たということなんですが、八代三番叟のワークショップを実施することを聞きました。地域の方々をはじめ伝統文化を残していきたい思いもある中で、講座を企画してくれたことに感心しました。私が携わっていることではありませんが、ふえふき文化スポーツ振興財団にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

- <議長> 先程の歌声喫茶の件について、ふえふき文化スポーツ振興財団の田中委員いかがでしょうか。
- <委員> 最初に話いただいた講座の件について、ふえふき文化スポーツ振興財団では、文化協会とスポーツ協会の事務局をしています。それぞれの協会活動だけではなくて、市民に向けた活動も行っています。自主講座になりますが、太極拳やバウンドテニス、少林寺拳法といった長期講座を実施しているものがあります。南アルプス市の歌声喫茶については、私も話を聞いただけでは、どんな形のイメージなのかわからない部分があるので担当も含め検討させてください。
- <委員> 動画サイトで検索していただければ活動の様子も確認できることと、南アルプス市桃源文化会館のホームページでも紹介しているので、是非検討していただけるとありがたいです。
- <委員> 動画サイトを見て研究します。八代三番叟の話がありましたが、ワークショップを企画して参加者の募集をかけさせていただきました。きっかけになったのが、三番叟の人形劇イベントを行ったなかで、前局長も携わっており、同じ人形を扱うことや人形を展示したことの交流があり、様々な共通点がある中でワークショップの企画を立ち上げました。現在も継続して活動をしておりますので、是非機会があれば参加していただければと思います。
- <委員> 御陣屋太鼓について、石和町市部地区の住民で、御陣屋太鼓とすいれき太鼓に地区の行事などで大変お世話になりました。生徒の演奏は非常に良い演奏で素晴らしかったです。できるだけ引続き協力願いたいと思います。
- <委員> 社会教育委員として経験が浅くてわからない部分がありますが、公民館活動は、地区の公民館で集まって活動することを想像していましたが、市は管理している施設で市民講座などを開催して学習活動をしていることを初めて知りました。私も石和地区で高齢者の居場所づくりの活動を立ち上げ、高齢者向けのストレッチの講座を行っています。知らないことが

あり新しく知る機会になるので勉強していきたいと思います。

<議 長> 公民館という言葉を知ると地区の集落センターなどの施設を想像すると思います。公民館は各地区の社会教育施設であることを認識してもらいながら、来年度は社会教育計画を策定する際に、公民館活動について協議することになるので承知してもらいたいと思います。

<委 員> この会議で委員の方々の活動状況を聞いてありがたいと思いました。八代町三番叟が人形劇であることと、高齢者の居場所づくりの活動を知ることができました。笛吹高校では生徒が地域の課題を見つけて、学校の授業で教師と共に解決策を考え一緒に取り組んでいます。例えば、伝統芸能を守る担い手や情報発信する人を集めて欲しいことと、高齢者の居場所づくりの中に若い世代が参加していく機会をつくっていただけるとありがたいと思いました。

<委 員> 高齢者だけではなく地域の子どもにも視野を広げて活動に入っていくことも考えてもらいたいです。私は、学校の長期休みに地区の公民館で子どもたちを集めて、居場所づくりの活動を10年ぐらい続けていますので、是非お手伝いなどに来ていただきたいと思います。

次第5 閉会のことば